

新入社員の愚痴

4月の入社以来、新入社員は各職場で研修を実行した結果、次第に鬱を感じる人が増えてきた。それについて、概要や考察等をここにまとめた。

【1】約3割が不安・不満・鬱に感じている

2chの書き込みを元に不安・不満・鬱に感じている割合を調査した。

2chを活用した理由は2点ある。1点目は、2chに愚痴や本音が書きやすいからである。2点目は、他のサイトにおいては、なかなか愚痴を書きづらく、書いたとしても、だいたい自分が悪いと処理されてしまうかもしれないからである。確かに、未熟な部分もあるかもしれないが、それだけでは解決できるとは限らないのではないかと思う。

集計方法は、後ろ向な書き込みが不安・不満・鬱に感じている人とし、前向きな発言が現状満足している人としてカウントし、それ以外の書き込みはその他として扱った。調査対象は、『2008年度入社(((; 日)))がカクブル part74 (6月5日~6月8日)』と『2008年度入社(((; 日)))がカクブル part76 (6月9日~6月10日)』の2000レスにした。『part77』は秋葉原通り魔事件の書き込みが多かったため、信頼できる情報が減るので除外した。

その結果、不安・不満・鬱に感じている人が約30.1%、現状満足している人が3.5%、その他が66.4%となった。個人的には、不安・不満・鬱に感じている人の割合は高いと感じている。それは、現状満足している人が3.5%しかないからである。満足している人が約3割ぐらいであれば、不安・不満・鬱に感じている人もこのぐらいでもおかしくないが、満足が3.5%だったら、不満もそのぐらいでなければ、バランスがとれないからである。これだけ、新入社員は大変であることが証明できる。

スライドの円グラフの見方についてであるが、×が後ろ向な書き込み(不安・不満・鬱に感じている人)、○が前向きな発言(現状満足している人)を表している。なお、その他はその他の書き込みである。

【2】愚痴の具体的な内容

一番多くみられたのが、『サラリーマンとして働き、生きていくのは嫌だ』といった書き込みであった。次に多かったのは、労働条件である。その他多かったものは、会社を辞めたいこと、仕事関係、上司関連であった。ストレスを感じて、死にたい・体の不調を訴えるのも比較的多かった。飲み会が嫌、会話力がないといった書き込みもあった。新入社員の悩みは、労働条件と仕事関係で悩んでいる傾向がある。

ここから、愚痴の内容を具体的にみていく。サラリーマンとして働いて生きていくということは、いかなる労働条件のなかで、いかなる人間関係のなかでも、仕事をこなさなければならないということである。言い換えれば、サラリーマンは大半の愚痴になる要素に耐えなければならないのである。したがって、『サラリーマンとして働き、生きていくのは嫌だ』という書き込みが一番多くなるのは、当然である。

労働条件について、具体的な愚痴の内容をみってみる。労働条件の中で一番多かったのは、勤務時間・勤務体系に関係するものであった。勤務時間は、過労の元になる長時間労働・休日出勤に関することである。勤務体系は、変則勤務体系(土日出勤で平日休み・夜勤等)のことを指している。特に夜勤は、人によっては、寝られなくなったり、体調崩したりする人もいたりして、大変に感じる。次に多かったのは、給与が安いという書き込みであった。学生時代のアルバイトでも、月10万円稼げるのに対して、サラリーマンは1日中働いても、月手取り15万円前後しかもらえないところが不満であるという意見が多かった。あと、残業代が出なくて(サービス残業)

不満をもっている人がいる。今の時代は、新入社員にも過酷なサービス残業をさせている企業があるのが現状である。

会社またはサラリーマンを辞めたいと感じている書き込みが 66 あった。辞めたら、転職活動が大変なことやワーキングプアに陥る可能性があるのに、そのような書き込みが目立っていた。さらに『死にたい』が 24 の書き込みがあった。特に**仕事を続けても地獄、辞めても地獄であるため、生きてても意味がない**というコメントが目立った。もはや、逃げ道がないように感じているようだ。辞めたいまたは死にたいと思って危機的状況になっている人は、2000 レス中 90 レスであることから、4.5%に相当する。したがって、最低でも 5% 近くの人が精神的に危機的状況に陥っているといえる。

仕事ができないという悩みの書き込みも 66 あった。当然、この時期に新入社員は仕事ができるはずがないので、このような結果になる。ところが、『**ノルマがきつい**』が 14、『**同期と比較される**』が 8 あり、仕事ができないという書き込みのうち、特に仕事に対して成果を求める書き込みが 3 分の 1 を占めていた。これは新入社員に対して、早くも成果を求めているところが多いことを示している。日本はかなり成果主義が進んでしまったのだろうか。

仕事ができる、できないというよりも、仕事内容が嫌という書き込みは 63 あった。自分がやりたい職種ができない人や苦手なことをやらされているというものがあつた。入社当初は、職種を選ぶことができないところが多い。特に『**会社の営業の仕事がお客様を騙していて嫌**』といった書き込みが 12 あつた。これは、**あきらかに自社の利益しか考えていなくて、会社が儲かれば、どうでも良いという会社があることを示している**。確かにこれでは、仕事をするときに罪悪感にみまわれると思う。その他、上司等の理不尽な手伝いをさせられ、大変だという書き込みもあつた。

上司関連の愚痴の書き込みが多く、全部で 55 あつた。なんとなく上司や先輩社員が嫌な人が結構多かつた。その具体的な内容は、『先輩社員が気に食わないことを言った』、『意味不明な行動をとる』、『自分とは馬が合わない』といったものであつた。しかし新入社員は、嫌な上司でも仕事を教えてもらう立場であるので、我慢しなければいけないので、2ch 等で愚痴として書き込みが多くなる。パワハラで悩んでいるという書き込みが 13 あり、現実的に起きていることが分かつた。『無駄に怒鳴りつけた』、『嫌な仕事を押し付けてきた』といったものがあつた。先輩社員が仕事をしないという書き込みがあつて、先輩社員は新入社員に仕事を押し付けて、さぼろうとしている人がいることを示している。あと、仕事の教え方が良くないという書き込みが 6 あつた。先輩社員が「見て覚えろ」と言って、あまり詳しく説明しない人や、怒鳴り付けて説明する先輩社員がいるといったものがあつた。

ストレスによる体の不調を訴える書き込みが 30 あるうち、特に不眠になるが 15 あり、半分を占めていた。仕事のことを考えると寝れなくなる人がいることを示す結果になった。あと、頭が痛い、吐き気がする、お腹が痛い、といった書き込みもみられる。人によっては、もう既に**うつ病**の症状があらわれ始めている人がいる可能性がある。

人間関係について書き込んでいる人は 21 あつた。特に嫌な人とも付き合わなければならないというのが多かつた。自分と価値観が違う人と付き合うのは大変であることを示す結果となった。飲み会が嫌という書き込みは、19 あつた。先輩社員に気をつかわなければならなくて大変といった書き込みが目立つた。会話力がないというのは 15 あつた。敬語が使い慣れていなくて、うまく話せないといったものや、電話対応で聞き取れないといった書き込みがあつた。大半の会社は電話対応や営業をやるので、ある程度の会話力が必要であるため、会話力がない人は不安に感じている。会社で会話に参加できない人もいる。

仕事もらえないという書き込みが 8 あつた。何もやることなく、暇でつらいといったものがあつた。あと、自分のいる会社が嫌というものも 8 あつた。うまく会社に溶け込めないといった書き込みがあつた。その他、発狂した意味不明な書き込みや仕事をやるのが精一杯で余裕がないといったものがある。特に意味不明な書き込みは、おかしくなることですからっきりしようとしたものである。

【3】会社や上司への要望

ただ、愚痴を書き込むだけでは解決しない。どのようにしてほしいか、どのようにするべきかを考え、会社や上司へ要望を出すのも必要だろう。実際に会社や上司への要望の書き込みがあったので、それについてみる。一番多くみられたのが、『即成果を求めないでほしい・仕事をしっかり教えてもらいたい』といった書き込みでした。次に多かったのは、上司関連である。3番目が労働条件であった。あとは、仕事内容・飲み会についてが主なものである。ところで、書き込みが最も多かった愚痴（サラリーマンとして働くの嫌だを除く）は、労働条件であったが、会社・上司への要望が一番多かったのは、『即成果を求めず、仕事をしっかりと教えてもらいたい』といったものであった。したがって、新入社員の会社や上司への要望は、『労働条件も大事であるが、良い上司に恵まれ、じっくり仕事を教えてもらいたい』とまとめることができる。これが新入社員の本音である。

『即成果を求めないでほしい・仕事をしっかり教えてもらいたい』について、具体的にみる。『上司・会社は無理な要望（ノルマ）を押し付けないでほしい』、『即戦力ではなく、しっかりと育成してほしい』、『上司にしっかりと仕事を教えてもらいたい』といった書き込みが11ずつあった。教えてもらっていないのに、成果を求められるのは困るといった内容が多いことが分かる。また、質問しやすい環境を作ってほしい（質問に丁寧に回答してほしい）といった書き込みもあった。質問してもいい加減にしか教えない先輩社員もいるようである。全体的な傾向をみると、「まずは自分でやれ」という会社・上司が多い。

上司を変えてほしいという要望も多かった。理由としては、愚痴で書き込まれた内容にある。パワハラだけは、勘弁してもらいたいところである。

労働条件について、具体的な要望をみる。『もっと休みがほしい』が一番多かった。その具体的な内容としては、『週休3日にしてほしい・大型連休をたくさんほしい』といったもので、海外に比べれば休みが少ないから、『日本はブラック』という人もいた。そこで、労働時間と休日日数を日本と外国を比較した。各種資料を用いたが、正確なものではなく、推定時間とした。それは、企業が資料を捏造しているところもあるため、正確に算出できないこと、また大まかな時間が分かれば比較できるので、それらを研究する必要もないからである。まず、年間労働時間を比較すると、韓国と同様で世界1・2位を争っていて、他の国に比べて長いことがわかる。年間休日日数を比較すると、韓国について2番目に少ない。欧米諸国では、最低でも10日以上連続の連続休暇がある。したがって、日本は労働時間が長く、休日日数が少ないので、もっと休みがほしいところである。それところが、過酷な時間外労働をやらされているところが多く、『過労の元になる長時間労働・休日出勤を改善してほしい』といった書き込みが多かった。また、給与を上げてほしいといった声もあった。このなかで、サービス残業をなくしてほしいという要望もあった。今の時代は、新社員にも過酷なサービス残業をさせている企業があるから、このような要望も出てくる。労働時間を少なくするか、残業代を高くするかをしてほしいのが本音である。

仕事内容に関する要望の書き込みは8あった。具体的には、『自分がやりたい（向いている）仕事を与えてほしい』、『無駄な雑用をさせないでほしい』といった内容であった。自分にとってやりがいのある仕事をやりたい人が多い結果となった。飲み会についての要望は、4つの書き込みがあった。飲み会そのものをなくしてほしい人もいる。また、飲み会は同期だけでやりたい人がいて、そうすれば、先輩社員に気をつかわなくていいといった声もあった。

その他以下の要望があった。

- ・仕事をたくさんやらせてもらい成長したい
- ・プレッシャーをかけないでほしい
- ・自分の意見を聞いてほしい
- ・挨拶を無視しないでほしい

また、会社・上司への要望というより、政治を何とかしてほしいという要望があった。確かに、政治が良くなれば、会社にも恩恵を受けることになり、待遇が良くなるかもしれない。

【4】まとめ

新入社員において、愚痴や要望が多かったのは、仕事関係・労働条件・上司関係であった。まずは、仕事関係・労働条件と、上司関係に分けて、それらに関してまとめて考察した。

まずは、仕事関係についてであるが、特に仕事ができないという悩みが多くあったことに着目した。それに対応する会社・上司への要望として、『成果を求めずに仕事をしっかりと教えてもらいたい』が一番多くあった。特に『仕事ができない』という愚痴の書き込みのうち、特に仕事に対して成果を求める書き込みが3分の1を占めていた。今の新入社員は、仕事を教えてもらっていないのに成果を求められているのが現状である。仕事を教えてもらっていないければ、仕事の成果が出ないのは当然であり、必然的にこのような結果になる。この問題点をみると、日本の会社は、社会人だから、「教えてもらうのを待つのではなくて自分から質問をしろ」、「先輩社員のやっている姿をみて盗め」、「まずは自分でやってみろ」というところが数多くある。その方法は、数ヶ月前まで学生だった新入社員にとっては不慣れであるため、仕事を習得するのにある程度時間がかかるのにかかわらず、アメリカのような成果主義を取り入れて、乖離している。成果主義を取り入れるのであれば、マニュアルを作り、それを利用して効率的に教えないとうまくいかない。労働条件の問題点は、日本の労働時間が長くて休日日数が短いことと、サービス残業をさせられていることである。仕事の成果が求められつつ、上司に気をつかわなければならぬ過酷な条件では、労働時間が長いと思う。特に社員の体調を考えず、サービス残業をさせられているところもある。仕事関係・労働条件の両方の問題が発生している共通の要因は、自社の利益しか考えていなくて、会社が儲かれば、手段は選ばないという会社があるからである。これは、今の日本社会の象徴であり、社会問題である。

上司関係についてであるが、新入社員にとっては大きな悩み事である。新入社員は、嫌な上司でも仕事を教えてもらう立場であるので、嫌な上司とも付き合わなければならぬと、上司には気をつかわなければならぬところが大変である。学生時代は、嫌な人とは付き合わなくて良かったが、社会では、どのような人でも付き合わなければいけないので、それができるようになるまで困難な道のりである。特に今までは勉強は良くできていたが、会話力がない人にとっては、自分の性格まで変える必要性も出てくるので、必ずしもみんなができるわけでもない。そのことから、社会・会社で求められている能力と学校教育で養われる能力は異なっているといえる。社会と学校が歩み寄らないと解決できない問題である。一方、会話力がない人のことを社会不適合者といわれるが、このようなレッテル貼らないで、もっといろいろなタイプの人間がいても良いと思う。話せなくても、仕事ができる人もいても、会話力がなくても仕事ができる職種があっても良いと思う。日本の文系の職種は営業・接客が中心で選択肢が少ない。最も、社会人みんなにそれを求めれば、自由に生きる権利すら奪うことにもなりかねない問題である。ところで、新入社員でなくても問題になっているのは、パワハラが起きていることである。『無駄に怒鳴りつけた』、『嫌な仕事を押し付けてきた』といったことが現実には起きている、これは精神的ストレスの要因になる。

仕事を教えてもらえずに成果を求められ、且つ上司に気をつかい、それを休むことなく（休みが少ない状態で）長時間やり続けたら、サラリーマンとして働くのが嫌になる。愚痴の中で、この書き込みが一番多く、実証されている。サラリーマンとして働く割には、対価が少ないのではないかと思っている人が多いのではないかとと思う。また、宝くじ当てたら、仕事を辞めたくなくなる人もいてもおかしくもないのではないかとと思う。実際にそれが実証されていて、会社またはサラリーマンを辞めたいと感じている書き込みが66ある。これはサラリーマンとして働くことがストレスに感じている人が多いことを示し、今後日本社会において深刻な問題になりかねない。ところで、この問題が大きくなっている理由のうちの1つは、日本社会（日本の会社）の考え方と、若者の考え方が異なっていることである。日本の会社は、上下関係が厳しく、面と向かって会話をしてコミュニケーションをとるが、若者は、上下関係が緩く、インタネットや携帯でコミュニケーションをとる違いがある。これを解決するには、会社と新入社員が共に歩み寄る必要がある。新入社員は、ある程度社会に合わせなければならないが、

会社も時代に合わせた運用・経営・新入社員の教育をしなければ、何も知らない新入社員は会社を辞めていく人が多くなってしまいます。現状でも、3年以内に辞めていく人が約3割いて多いが、ゆとり世帯になるともっと多くなり、日本経済が立ち行かなくなる。

一方、会社を辞めてしまうと、転職活動が大変であるので、フリーターやニートになってしまい、ワーキングプアに陥る可能性がある。したがって、仕事を続けても地獄、辞めても地獄であることから、『死にたい』という書き込みがあるのは当然である。日本社会は、一度経歴を汚してしまう（早期退職等）とやり直しができない（再就職ができない）社会になってしまっていることが問題である。現状従業員のうち、約3分の1が非正社員である。そのため、逃げ道がないため、サラリーマンとして働き続けている人は、限界を超えて、うつ病になるか、自殺するか、犯罪にはしってしまうかになる。うつ病・自殺・犯罪増加（無差別殺人等）は、現在の日本社会の深刻な問題になっている。現状の日本社会の仕組みに問題があるといわざるを得ない。

だが、会社が全て悪いとも言い切れない。それは、国が企業から大量に税金を取っているからである。したがって、企業も収益重視でいかなければ、生き延びることができない。国はこの現状を考え、政治をする必要がある。今の政治の迷走は、まさに日本社会の現状をあらわしているものである。政治を何とかしてほしいという書き込みがみられるのは、そこにある。